

特別講演 1

「抗菌薬の考え方・使い方」

神戸大学 感染症内科教授

岩田 健太郎 先生

抗菌薬の適正使用の必要性が訴えられています。では、抗菌薬の適正使用とはいったい何を持ってそうだ、というのでしょうか。しばしば、我々は抗菌薬の届け出制や許可制を「適正使用」と勘違いします。しかし、患者にアウトカムをもたらすことが抗菌薬の「正しい」使い方です。そのためには、「菌を殺す」ためだけの不要な使用は避けねばなりません。投与量、投与間隔、投与期間の適正化を行わねばなりません。使いやすい抗菌薬、3世代セフェム、マクロライド、ニューキノロンがしばしば不適切に用いられています。これらをどう使いこなすかは、大きな課題です。

このような話をしてみようと思います。